

「20～40代の区民との語る会」

日時：2月20日（木） 午後7時から（実施形態：オンライン）

◇外国人観光客向けの防災対策について

質問	回答	対応
<p>外国人観光客向けの防災対策について懸念しており、その対策の強化についてお聞きしたいと思います。</p> <p>具体的には、外国人観光客向けの防災対策の強化（被災時の必要物資の備蓄の強化、被災後の帰国の支援などのケアの充実化など）が必要なのではないかという点。そして、その財源として、受益者負担の原則から宿泊税等のかたちで、台東区内に宿泊する観光客から広く薄く徴収することについて、見解をお聞きしたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(30代 男性)</p>	<p>外国人観光客を含む帰宅困難者対策としては、一時滞在施設の確保や、食料、毛布等の備蓄をしています。また、上野や浅草では、帰宅困難者対応訓練を実施するなど、様々な対策を行なってまいりました。</p> <p>さらに、令和7年度には、新たに「浅草地区帰宅困難者対策推進協議会」を設立し、避難誘導指針の策定に向けた検討を開始し、取り組みを強化しています。</p> <p>多くの観光客が訪れる台東区は、都や事業者などの関係機関と協力しながら、帰宅困難者対策を推進してまいります。</p> <p>また、宿泊税については、平成14年に東京都で導入され、観光振興施策の財源として活用されています。</p> <p>台東区においては、他自治体の宿泊税の活用状況も参考に研究してまいります。</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>

◇少子化対策について

質問	回答	対応
<p>子供をたくさん産んでいますが、小学校入学や中学入学のお祝いだけでは、なかなかメリットを感じづらいです。子供をたくさん育てるためには、やはりお金が必要だと思っているので、少子化対策として、具体的に金銭的な支援で何か考えていることはありますかでしょうか。</p> <p>また、小・中学生向けに、少子化対策に向けてもっとライフプラン作成などの学びを深める機会の提供があると良いと思いますが、何か行なっていることはありますかでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>	<p>区では、今回お話があった「にぎやか家庭応援プラン」のほか、子ども医療費助成や児童手当、出産した全ての区民へ一律5万円を助成する出産費用助成等、各種手当の支給や助成をすることで、妊娠・出産、子育てに伴う家庭の経済的負担の解消、軽減を図っています。また、安心して子育てができるよう、相談支援体制の充実にも取り組んでいます。なお来年度からは、妊婦の方にお渡ししていたWebカタログギフトを、現金支給に変更する予定です。</p> <p>区としては引き続き、子育て当事者が経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、身近な場所でサポートを受けながら、安心して子供を育てることができるよう、子育て支援施策の充実に努めてまいります。</p> <p>また、区内の小・中学校では、学年ごとに学校、家庭および地域での学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返る活動を行なっています。児童・生徒にとってこの活動は、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする機会となっています。</p> <p>さらに中学校では、家庭科や社会科等の教科を通して、ライフプランについて学習したり、立志式や職場体験を実施したりするなど、自分の将来について考える学習を進めています。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

◇学校の建替え工事に伴う子供の運動不足への影響について

質問	回答	対応
<p>小学校の建て替え工事の影響もあり、外で体を動かせる場所が少ししかないと感じています。そのため、子供の運動不足が心配です。</p> <p>そもそも、なぜ区立小・中学校の校庭がこんなにも狭いのでしょうか。また、隣接する公園を小・中学校として使用しないのはなぜなのでしょう。</p> <p>(40代 女性)</p>	<p>台東区の多くの学校が、関東大震災や第二次世界大戦後の土地が不足する中で整備されており、その後も校庭を広げるための新たな土地の確保が難しく、現在に至っています。</p> <p>また、学校によっては、移動時間や安全管理などを考慮したうえで、隣接する公園を使用している場合もあります。しかし、公園は園庭のない保育園や一般の方も利用しているため、常時、使用することは難しい状況です。</p> <p>学校を建て替える際には、近隣の小・中学校の校庭や体育館をはじめ、様々な施設を活用して体育の授業を実施するなど、運動する機会を可能な限り確保しています。</p> <p>また、教育活動全体を通して運動に親しみ、自ら体力を高めていく習慣を身に付けられるような指導を各校において展開していますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇学校給食・保育園入園の選考基準・避難所について

質問	回答	対応
<p>①子供が給食を楽しみにしていますが、昨今の食料品の高騰で財政も厳しいと思います。一番危惧しているのは、無償化によって予算を優先して質を落とし、子供たちがおいしい給食を食べられなくなることです。</p> <p>②子供が保育園に入園するときに、一度待機児童になりかけた苦い経験があります。保育園入園の選考には、居住年数や勤務が台東区かどうか、持ち家かどうか、ふるさと納税で別の自治体の支援をしていないかなど、台東区への貢献度も選考基準に入れていただきたいと思います。</p> <p>③路上生活者を避難所で拒否した問題が2019年にありましたが、その後どのような対応をしているのでしょうか。 (40代 男性)</p>	<p>まず、学校給食についてです。 給食食材の予算については、物価の上昇分を見込み、年度ごとに増額して対応しています。国産食材や地場産物を中心に、多様な食材を取り入れて献立を工夫するなど、食育の推進にも力を入れながら、引き続き質の高い学校給食の提供に努めてまいります。</p> <p>続いて、保育園入園の選考についてです。 今回ご提案いただいた「区への貢献度」は、その指数化が難しく、選考基準に加えることは難しいと考えています。 入園の選考では、保育の必要性や児童のおかれている状況、家族構成などを指数化し、指数の高い児童から順に入園を決定しています。今後の入所調整についても、公正・公平な選考となるよう努めてまいります。 最後に、風水害時の避難所における路上生活者の対応についてです。 令和元年台風19号の対応における課題を踏まえて、「風水害対応方針」を策定しました。その中で、路上生活者への対応として、台東区役所本庁舎と台東区民会館を緊急滞在施設として開設します。さらに、関係機関と協力し、路上生活者に周知するためのチラシを配布するなど、対策を定めています。 今後とも、様々なニーズを持つ避難者に対して適切な対応ができるよう、災害対策を推進してまいります。</p>	<p>—</p>

◇子育て支援について

質問	回答	対応
<p>他区では所得制限無しで学用品の全額無償化が始まっています。台東区でも同じようになればと感じていますが、検討いただくことは可能でしょうか。</p> <p>1つ1つは少額ではあるものの、学用品ほか細々した支払いが多く、その結果負担が大きいと感じています。学用品等、学校で使用するものは区で負担することで、将来の子供への投資につながると思います。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>	<p>各家庭において、小・中学校での教育活動に要する費用は増加傾向にあり、学校で使用する教材や、学用品等に係る費用の割合が大きい状況です。</p> <p>区ではそれらを支援するため、来年度予算に補助教材、学用品等に係る費用を計上しています。区立小・中学校、および区内在住の特別支援学校に通う児童・生徒が対象であり、ドリル・資料集等の補助教材や、リコーダー・習字道具等の学用品が支援の対象となります。</p> <p>区としてはこの取り組みを通して、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の充実と子育て支援のさらなる拡充を図ってまいります。</p>	◇

◇子育てに協力的な区内企業に対する政策について

質問	回答	対応
<p>子供が産まれると私たちの生活は一変します。9時から18時まで働き、子を迎える行き、家事をして、子が就寝するのは22時を過ぎることも珍しくないと聞きます。睡眠時間の減少は子供の成長にも悪影響なのは言うまでもなく、親として仕事との両立がこんなにも大変では、第二子をもうけようと思わなくなります。</p> <p>企業としては1日8時間労働が当たり前で、それができる人が「正社員」です。しかし、18時まで働いてはまともな子育てができないのが現状です。定時が17時の企業があれば良いのと思うことがあります。</p> <p>1日8時間より短い勤務時間でも正社員でいられる企業に対して、子育て協力企業として優遇措置を取るなど、何か企業への政策を考えていただけませんか。</p> <p style="text-align: right;">(40代 女性)</p>	<p>私も、生活と仕事の両立については重要な課題であると認識しています。</p> <p>現在、区では、区内の中小企業を対象に「ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業」を行なっています。「子育て支援」、「働きやすい職場づくり」、「介護支援」の分野ごとに認定を行なっており、認定されると、広報たいとうや区公式ホームページ等で認定企業の取り組みを紹介したり、区の中小企業融資のあっせん等を受けたりすることができます。</p> <p>また、認定された企業は、短時間勤務やフレックスタイム制等で、勤務時間について柔軟に対応している企業も多いです。</p> <p>現在は31社を認定しており、認定企業については、区内で配布するパンフレットのほか、区公式ホームページでもご覧いただけます。</p> <p>今後も皆様が仕事と生活を両立しながら、いきいきと働き続けられる職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇西町公園について

質問	回答	対応
<p>西町公園をよく利用していますが、1歳の息子が公園で転んだときに、顔の目の前にたばこの吸い殻が4, 5本落ちていました。禁煙が全く守られておらず、子供を安心して遊ばせる環境になっていません。他の親からも西町公園は喫煙者だらけともっぱらの評判です。中核病院に隣接している公園がこのような状況でよろしいのでしょうか。</p> <p>また、公園の遊具がどんどん減っています。丸太切り株けんけんばが撤去されたら、去年は滑り台も撤去されました。トイレの改築が実施されていますが、公園の再整備の設計と工事をお願いします。なお、複合遊具はユニバーサルデザインに配慮した物が望ましいです。</p> <p style="text-align: right;">(40代 男性)</p>	<p>現在、西町公園では、トイレの改修工事を行っており、近隣にお住まいの皆様には大変ご迷惑をお掛けしています。</p> <p>この度のトイレ工事では、男性用・女性用と別々にトイレを設けるため、トイレの敷地面積が大きくなります。この工事を安全に行うために、一時的にトイレ周辺の遊具を含め、現在、工事範囲を仮囲いしています。なお、3月中にはトイレ工事が完了する予定で、工事後は再び遊具をご利用いただけますので、今しばらくお待ちください。</p> <p>また、令和6年に実施した遊具の点検により、児童用の滑り台の劣化が進んでいたため撤去しました。子供たちにとって大切な遊び場が減ってしまい、保護者の皆様にもご心配をお掛けしています。なお、新しい遊具については、周辺の公園にある遊具とのバランスを見ながら、子供たちに楽しんでもらえる遊具の設置に向けて、現在、検討を進めています。</p> <p>次に、公園は利用者が多岐にわたるため、禁煙とはしていませんが、喫煙者が多い公園や、他の公園利用者に迷惑となっているなどの相談を受けた公園では、巡回警備職員による注意・指導を行なっています。さらに、喫煙に対する注意喚起の掲示を大きな文字や強調して表示するなど、工夫してマナーの啓発に努めています。</p> <p>今後とも喫煙マナーなど公園利用マナーの向上を図るため、啓発等を行なってまいります。</p>	<p style="text-align: center;">☆</p>